

令和4年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。7月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

夢と笑顔があふれる元気な学校
～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども
「と」ともだちを大切にできる子ども
「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども
「ち」ちゃんと目を見て考えて話せる子ども

概要

本校では、「夢と笑顔があふれる元気な学校～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～」という学校教育目標を受け、今年度は「発信力」「対話力」の育成に基づく「主体的・対話的で深い学びの充実」という研究主題で教育活動を進めています。昨年度までは、思考ツールやICTを使い、考えを整理しながら、発信していく力を高める研究を行ってきました。今年度は、「対話力」を重点に置き、コミュニケーション能力を高めることを目標に、「子ども同士の協働を通じて、対話の中で自己の考えを広げ、深め、思いを進んで発信できる子ども」を目指しています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像(も・と・ま・ち)に照らし合わせて、評価項目を「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校独自の取組」と設定しました。また、学校教育目標の具現化を目指すために、教職員はもちろん、子どもや保護者の皆様についても自己評価をする形式をとっています。例えば、保護者アンケートでは、「～するようにお子たちにお声かけいただいていますか」という表記にさせていただいています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動をふり返り、前向きに取り組むことができていることを意識できる機会となったのではないのでしょうか。

保護者アンケートは、回収率が92%でした。今回も紙プリントかオンラインかを選択して回答していただけるようにしました。全体を通して、ほとんどの項目で実現度が80%以上でした。これは、本校の教育方針にご理解いただき、ご家庭でもお子たちへの声かけや励ましをしていただいているからだと考えています。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

「教職員自己評価」については、多くの項目で実現度は80%以上でしたが、実現度が低い項目もありました。今後の教育活動の取組内容や方法等について検討を重ねていきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後、保護者の皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にしたいと思っています。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。第2回学校評価は、12 月末に予定しています。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R3	R4	R3	R4	R3	R4
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	88%	93%	98%	96%	90%	94%
	2	進んであいさつをする	98	94	92	92	80	100
	3	「てまきでははは」を心がける	94	88	86	78	100	92
(確かな学力) もっと学びたいと思える子ども	1	授業中に学習のルールを守る	96	88	92	91	100	93
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	96	87	82	87	100	88
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	88	93	94	96	100	82
(豊かな心) ともだちを大切にできる子ども	1	誰とでも仲良くする	97	95	98	96	100	100
	2	相手の思いや考えをよく聞いて大切にする	97	99	96	96	100	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	98	96	97	97	100	100
(健やかな体) まいにち笑顔で過ごせる子ども	1	自分の体や心を大切にする	95	80	99	99	90	67
	2	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	95	97	97	98	90	58
	3	進んで外遊びや運動をする	82	82	74	84	70	53
(学校独自の取組) ちゃんと目を見て考えて話せる子ども	1	図や絵や思考ツールを使って自分の考えを整理したりまとめたりする	88	78				82
	2	進んで自分の考えを文に書いたり、発表したり、相手の話をしっかりと聞いたりする	78	88				95
	3	コンピューターやタブレットを使って進んで学習する	96	95				69
学校独自の取組 (保護者)	1	子どもから学校での出来事などの話を聞く			98	96		
	2	子どもの宿題や学習ノート、学校からのお便りなどを見る			92	92		
	3	子どもが宿題などで分からない時には、辞書や本、コンピューターなどを使って調べるように声かける			91	80		

主な成果と課題

<学校生活>

「学校で楽しく過ごしている」と答えた子どもは93%でした。学校の目指す子ども像に「まいにち笑顔で過ごせる子ども」とあります。休み時間には、低学年と他の学年と一緒に遊ぶなど、ほほえましい姿をよく見かけます。しかし、「楽しく学校生活をあまり送れていない」と答えている子どももいることを、しっかりと受け止め、みんなが笑顔で学校生活を送ることができるように教職員一同で子どもたち一人ひとりと関わっていくようにしていきたいと思っています。

<もっと学びたいと思える子ども>

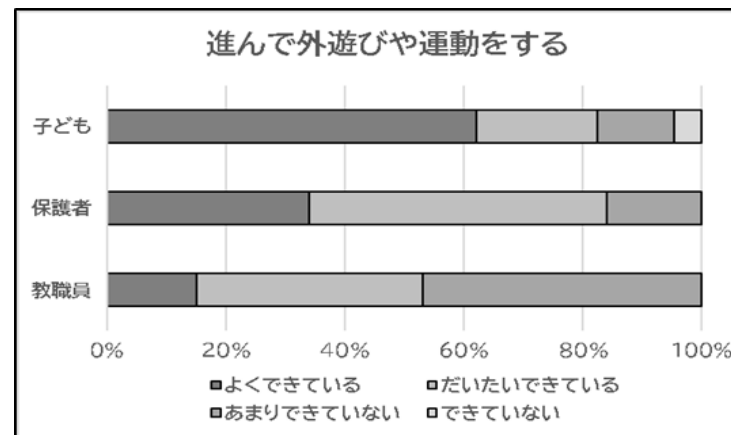
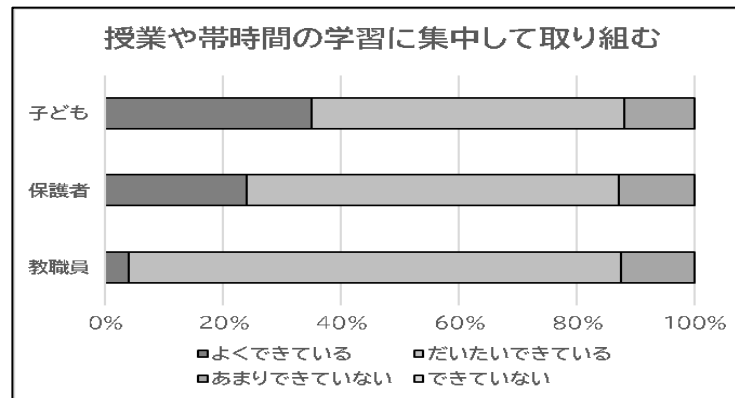
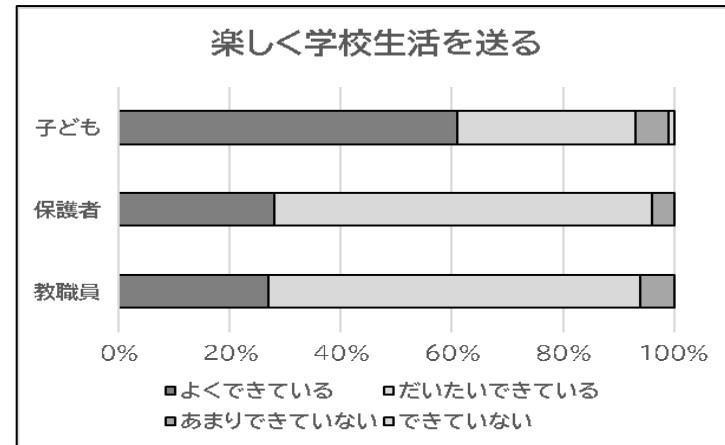
「授業はよくわかる」という子どもは91%いましたが、分かりにくいという子どももいました。どの学年も学習の前には、めあてを明確にし、授業後には振り返りを大事にしています。授業者が振り返りを確認するなどして、子どもの理解を確かめながら、進めていきたいです。「学習に集中して取り組む」という子どもは86%いました。多くの子どもたちが、学習に対して、前向きに取り組んでいる姿がうかがえます。子どもたちのやる気が出るように、課題を明確に設定したり、授業の展開を工夫したりしながら、基礎・基本の力をさらに定着していきたいです。

<ともだちを大切にできる子ども>

3項目とも、子ども・保護者の実現度は90%以上でした。本校の子どもたちが友だちのことを考えて、思いやりをもって人に接していることがよくわかります。毎月の朝会では、「人権の日・保健の日」としてテーマを設けて多様性を認め合うことや心身を大切にすることなどを学んでいます。先日行われた体育フェスティバルでも、学年部ごとに協力しながら活動を進めていました。11月の全校遠足では、たてわりグループでオリエンテーリングをしたり、遊んだりしました。今後も様々な活動を通して、自分自身や友だちを大切にすることを育んでいきたいと思っています。

<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

生活リズムを整えるように、ご家庭で声かけをしていただいていることが結果からよく分かります。「早寝早起きができています」と答えた子どもは73%でした。学年が上がるにつれて、寝る時刻が遅くなっている傾向があります。夏休み明け、冬休み明けには、学校でも生活リズム調べを行い、生活リズムを整える取組を行っています。規則正しい生活を行い、心身ともに健やかになるようにしていきたいと思っています。「進んで外遊びや運動をする」という子どもは82%でした。夏の暑い日でも、元気に校庭で遊んでいました。冬が近づき、寒くなっても、外で元気に遊ぶことができるように、たてわり遊びや委員会からの取組などを通して、外遊びを楽しむ子どもを育てていきたいと思っています。



<学校独自の取組(子ども)>

「進んで自分の考えを文に書いたり、発表したり、相手の話をしっかりと聞いたりする」ことができている子どもは88%でした。本校では子どもにつけたい力の一つである「対話力」を高めるために、相手の話を聞き、それを受けて自分の考えを伝えるということを大切にしています。相手の意見の良さを見つけたり、比較したり、つなげたりしながら、自分の思いを発信できるようにしていきたいと思っています。

<学校独自の取組(保護者)>

「子どもから学校での出来事などの話を聞いていただいている」という項目の実現度は96%でした。お子たちから学校での様子を聞いていただくことで、お子たちの成長や困りに気づかれることもあることでしょう。「家では学校のことをあまり話してくれない」という保護者の方の声を聞くこともあります。学級だよりやホームページをご覧ください、ご家庭での会話のきっかけになればと思います。子どもが自分の言葉で伝えられることが大切だと思います。

自由記述より

○親からの声かけ等は、心がけてやっていますが、本人の行動にうまくつながっていないと反省すること多いです。コロナ対策も重要ですが、今は熱中症の方がとても心配です。子どもはコロナを気にして、マスクを外そうとなかなかしません。登下校の際、しんどい時はマスクを外すように、むしろ声かけをしてほしいです。

⇒元町小学校では、「てまきでははは」を合言葉に感染症対策を行っています。夏の暑いときは、熱中症対策もあわせて行うため、特に「ははは」を重点的に行ってきました。子どもたちは、暑いときは、マスクを外し、話さないようにするなど、それぞれ自分で考えて行動している姿がありました。ただ、低学年では、まだまだ自分で判断しにくいところもあるかと思うので、こまめに声かけをしていきたいと思っています。

○コロナ禍で大変な中、子どもたちを見守り、指導して下さりありがとうございます。遠足など外に出るのが難しいなら、逆に外から招くなど、校内で何かできる事はないかと思います。我慢ばかりではなく、楽しい思い出がたくさんできたら良いなと思います。

⇒まだ、感染が収まっている状況ではないので、京都市の感染者数等を見て判断している状態ではありませんが、昨年度、一昨年度に比べると、今年度は、社会見学や宿泊行事等の校外活動ができつつあります。子どもたちの体験的な学びができるよう計画をしていきたいと思っています。

学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については11月17日(木)の学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。「これからの未来を背負う子どもたちには、自分から進んで学習に向かってほしい。自主学習を通して、自分で課題を作り出す力も身につけていければよい。」「自分の意見をしっかりとつことは、大切である。人の話を聞いて、理解し、発言することは難しいことかもしれないが、社会に必要な力であるのでぜひがんばってほしい。」「アンケートの結果から、『自分の体や心を大切にする』子どもの実現度が他の項目に比べて、低くなっているのが気になる。」などのご意見が出されました。

いただいたご意見をもとに、今後とも学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思っています。ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

